

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	地域空間情報デザイン小委員会		主 査 名：中澤公伯 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：倉田成人
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築を対象とした物理的な事象に加え、空間情報を入力値として 出力される人の印象や行動も空間情報として扱い、BIM・機械学習・コンピュータシミュレーションデザインといった要素技術を GIS上で展開する計画手法の提案を思考する。</p> <p><b>初年度</b>：定期に各委員の研究内容の発表と意見交換、要素技術の勉強会を行う。小委員会の回数としては 3 ヶ月に一回、年 4 回程度を開催する。</p> <p><b>2 年度</b>：各委員会の発表と意見交換を行うと共に、GISの義務教育化等、ゲスト招いた勉強会も行う。建築学会大会OSを開催。WG設置の検討。小委員会主催・共催のシンポジウムを開催する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：中澤公伯 (日本大学) 幹事：小林祐司 (大分大学), 山田悟史 (立命館大学) 委員：大内宏友 (日本大学), 大場亨 (市川市), 田中みさ子 (大阪産業大学), 瀧澤重志 (大阪市立大学), 藤井健史 (立命館大学), 阪田知彦 (建築研究所), 大串豊 (M&Kコンサルティング), 関口達也 (中央大学), 篠崎道彦 (芝浦工業大学), 西原是良 (早稲田大学), 北垣亮介 (東京大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2018 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「G空間社会の形成と地域空間のデザイン(I) : GISの高校必修化と教育先進事例」 参加者数 20名 『同名資料』
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会毎に各委員の研究紹介を行い、有意義な意見交換を実施した。 2. 外部講師を招いて、GIS高校必修化に関する勉強会を実施し、今後の大学教育の在り方を議論した。 3. 大会OS「G空間社会形成への取組みと課題」、シンポジウムを開催し、G空間社会形成に向けた議論を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 活動成果の情報発信 2. 関連情報・技術の収集、集約
その他	※2019年度大会OS「G空間社会の理論と応用」を企画した。